

## 考え・議論する道徳授業の工夫と授業実践

教育学研究科 教育実践創成専攻 教科領域実践開発コース 中等教科教育分野 小林早希

### 1. 問題と目的

#### (1)道徳教育と道徳科

学習指導要領の改訂に伴い、道徳の時間が「特別の教科 道徳科」として、小学校では平成30年度から、中学校では、平成31年度から教科化がされている。「特別の教科 道徳科」としての特徴の一つとして、「考え・議論する道徳」への転換というスローガンが使われている。今まで行われてきた道徳授業は、心情理解を中心としたアプローチの授業展開であった。しかし、このようなアプローチでは、道徳的諸価値が明らかであり、子どもたちが自ら考え、議論していく道徳授業にはならない。いじめや暴力行為などの若者の少年事件が引き続いている中で、「生きる力」の育成や「心の教育」が今まで以上に注目され、重要視されている。「生きる力」の育成と「心の教育」に対する教育の中で、重要な役割をもつ道徳教育とその統合の中心となるべき「道徳科」の指導に関して、現状では形骸化が進んでいるといっても過言ではない

#### (2)「道徳の時間」の課題

このような道徳の授業の現状において、具体的にどのような問題があるのだろうか。実際の問題点について、次のような認識が示されている。

第一に、「道徳の時間」は「各教科等に比べて軽視されがち」であるということである。それは、「道徳の時間」の実施状況調査に、学校現場において、必修であるはずの道徳の時間が必ずしも十分な形で実施がされていないということが示されている。学校行事や生徒会行事などの補填に当てられたりすることやテスト前には自習の時間に当てられるなどの軽視されやすい実態であるということである。

第二は、「読み物（教材）の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な授業展開（指導）が少なくない」ということである。前段でも述べたように、道徳の時間が教科化され、教科書ができたことにより、読み物資料が扱われることが圧倒的に多い。その際に、教師がこの価値が正解であると考えようとする読み取りの視点のみで授業を進めていってしまうことで、登場人物の心情を中心とした読み取り授業に固執した授業、いわば「読みもの道徳」が多く行われていることが現状である。

第三は、「子どもの発達段階などを十分に踏まえず、児童生徒に望ましいと思われる、分かり切っていることを言わせる・書かせる授業」が多いということである。本来の道徳授業は、子どもたちの内面の成長を促していくことを目的としており、子どもの発達段階とその特質に即して行われる必要がある。また、前段にも指摘した教師の「正答」主義的な読み取りの授業から、子どもたちが教師が期待する「正解」を予測し、それを自らの「考え」としてしまような授業になってしまっているということである。

そのため、子どもたちの行動の変容に実際には影響されてなく、結果として「生きる力」の育成や「心の教育」としての「意味をなさないものになってしまう」ということである。

こうした「特別の教科 道徳」において、従来の価値注入型の授業ではなく、子どもたちが「考え・議論する授業」を目指していくにはどのような授業の工夫をしていけばよいのだろうかということに焦点を置き、授業方法の工夫という観点から「考え・議論する道徳授業」について授業実践を行い、研究・検証する。

2. 研究方法

(1) 実践校

実践校：山梨県公立小中学校

(2) 授業実践

対象：小学校第5学年1クラス

中学校第1学年1クラス

日時：小学校9月（1単元2時間）

中学校12月（1単元1時間）

● 小学校での実践

主題名：夢に向かって

内容項目【A 希望と勇気、努力と強い意志】

資料名：「ミッキーマウスの誕生」

(出典「みんなの道徳5年」学研)

ねらい：ウォルト・ディズニーが困難な

ことがあっても前向きに努力し続けた訳を考えることを通して、夢や希望をもち続けることの大切さについて気づき、信じたことに希望をもってくじげずに努力しようとする心情を育てる。

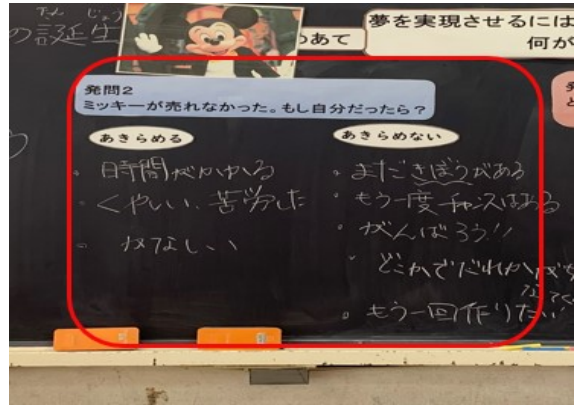


図2 小学校板書

● 中学校での実践

主題名：命の大切さ

内容項目【A 生命の尊さ】

資料名：「私に宇宙のプレゼント」

(出典「飛び出そう未来へ」教育出版)

(出典「みんなの道徳5年」学研)

ねらい：腎臓移植によって変わった私の生き方から、

命の尊さや命の大切さについて気づき、自

分自身の生き方や命を大切にしていこうと

する心情を育てる。

学習指導要領	学習活動(展開)	生徒の予想される発問	指導上の留意点
入 場 分	1. 「しあわせウサギのオズワルド」の動画を見せる。  このキャラクター（オズワルド）を知っていますか？	・知らない ・見たことがある	・ミッキーマウスの背景から、 誕生について投げかける。
展 開 分	2. 「ミッキーマウスの誕生」について語る。 3. オズワルドが売れなくなったときウォルト・ディズニーの気持ちを考える。  オズワルドが売れなくなった新しい人気歌を弾きだしてはならなかったときのウォルト・ディズニーはどんな気持ちだったか？  4. 自筆調で発表したミッキーマウスが全然売れなかった。自分だったらここで諦めるか、諦めず書き続けるか。  自身調で発表したミッキーマウスが全然売れなかったとき、自分だったらここで諦めるか、諦めず書き続けるか。  5. どうしてウォルト・ディズニーは困難を乗り越えたのかを考えたのかを伝える。  なぜウォルト・ディズニーは困難なことがあっても前向きに努力し続けられたのだろうか？	・どうしよう、困った。 ・悔しい。 ・自分の作ったキャラクターなのになんで、しょうがない。  【諦める】 ・売れなくて自傷を繰り返した。 ・聞いていないから ・売れなくてお金がない ・才能がない  【諦めない】 ・夢があるから ・努力してきたから ・諦めたらもう終わりだから ・夢は諦めず頑張るから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから  【諦めない】 ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりだから ・諦めたらもう終わりから	・資料とワークシートを配る。  ・資料とワークシートを配る。  ・自由な気持ちを書かせる。 ・書けない児童には、他の児童の意見からいいと思ったものを足す。
結 末 分	6. 自分自身の得意な事や夢に向かってどうしていきたいかを考える。 7. ディズニーの名言を紹介する。		・オープンエンドで終わらせる。 ・努力の大切さだけでなく、夢をあきらめないこと、希望を待つことの意味についても理解させる。

図1 小学校指導案

学習指導要領	学習活動(展開)	生徒の予想される発問	指導上の留意点
入 場 分	1. 読書提供カードを見る。  このカードを見たことがある人？	・知らない ・見たことがある	・病院や運転免許の表にも書いてあることを伝えながら身近に置いてあることを伝える。
展 開 分	2. グループごとに教材を読む。 3. 「私は一生病気のままか」と思った私はどんな気持ちだったか考える。  「私は一生病気のままか」と思った私はどんな気持ちだったか考える。  4. 「私」は弟の言葉で決断をしたが、自分だったら決断をするか、しないか考える。  「私」が自分だったら決断をするかしないか理由も含めて考えよう。  5. 幸福に生きるとはどんなことか考える。  幸せに生きるとはどんな生き方なのだろうか？	・どうせ治らない。 ・あきらめられた。 ・死ぬのかな。 ・しょうがない。  【する】 ・夢があるから ・生きたいから ・死にたくないから ・家族が悲しむから ・どちらの意見も受け入れて反応する。  【しない】 ・どうせ治らないから ・怖いから	・資料とワークシートを配る。  ・自由な気持ちを書かせる。 ・書けない児童には、他の児童の意見からいいと思ったものを足す。  ・オープンエンドで終わらせる。 ・命の大切さ、よく生きることに感じてさせる終わり方にする。
結 末 分	6. 自分自身よりよい生き方について考える。 7. 相田みつをの名言を読む。		・オープンエンドで終わらせる。 ・命の大切さ、よく生きることに感じてさせる終わり方にする。

図3 中学校指導案

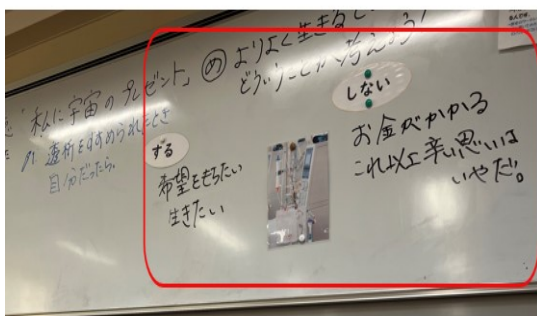


図 4 中学校板書

### (3) 道徳授業における手立て

今回の研究では、道徳授業における授業方法の工夫を考えた。授業方法の手立てとして①～⑤に示した5つの手立てを考えた。5つを教材に合うもの同士を組み合わせることで授業を作成していき、「考え・議論する道徳授業」への効果を検証した。

#### ① 教材提示の工夫

教材提示の方法として、4つの提示方法を考え、教材に合った提示の仕方を選んでいく形とした。

- a 教科書（資料）を配り、教師が範読する。
- b 教科書（資料）をグループで読ませる。
- c 資料を提示せず、話のみで提示する。
- d 動画を見せる。

#### ② 発問の工夫

教材の中心発問の形としての種類を4つの類型に分けた。

a 共感的	b 批判的	c 範例的	d 感動的
〇〇はどんな気持ちだろう。主人公の心の中はどうか。	〇〇がしたことについてどう思うか。どうすればよかったのだろうか。	〇〇の素晴らしい(よくない)ところはどこだったのだろうか。	どんなことにあなたは心をうたれましたか。

図 5 発問の工夫

具体的な内容としては、

- a 共感的活用  
登場人物の気持ち(思い) 寄り添う形の発問。
- b 批判的活用  
登場人物の気持ちや考えに対して逆の視点から考えていくような発問。
- c 範例的活用  
素晴らしい(よくない)場面に対する考えを問う発問。
- d 感動的活用  
心を打たれた言葉や場面に対する思い(考え)を問う発問。

#### ③ 交流の場の工夫

「考え・議論する道徳授業」を作っていくためには、子どもたち同士の意見の交流が重要である。意見をただ言うのではなく、どのように意見交流をさせるのかという視点から交流の場の設定の工夫を考えた。

- a ペア・グループ交流
- b 対意見交流
- c ロールプレイ・役割演技
- d ICT機器による交流

#### ④ 板書の工夫

②の発問の工夫に対応した形で活用していくような板書計画の例として今回は4種類の板書の形式を考えた。

##### a 縦・横書き板書

縦書き又は横書きの一般的な国語科に似た形の板書の形式。子供たちの意見を縦型・横型に書く形。



図 6 板書の工夫(a)

b 心情焦点型

登場人物の心情に焦点を当てている板書の形式。



図 7 板書の工夫(b)

c 葛藤・対比型

中心発問に対して2つ以上の意見の葛藤や対比を問う板書の形式。

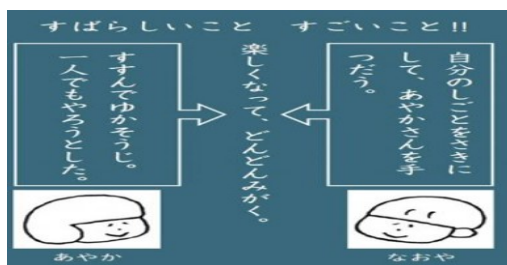


図 8 板書の工夫 (c)

d 状況整理型

場面や登場人物の状況理解を板書のメインとしている形式。

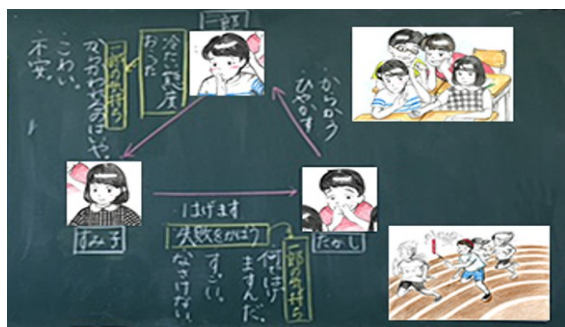


図 9 板書の工夫(d)

④ワークシートの工夫

「考え・議論する道徳授業」の中では、最初にも述べた通り、自分の考えを持ち、さらに明確にしていくことが求められる。そのため、ただノートに記述するのではなく、子どもたちが考えを書くワークシートに対しての工夫もしていく必要があると考えた。今回は、4つの種類に分類して、工夫策を挙げてみた。

a 吹き出し型ワークシート

絵や図の人の吹き出しに自分の考えを記入する形のワークシート。

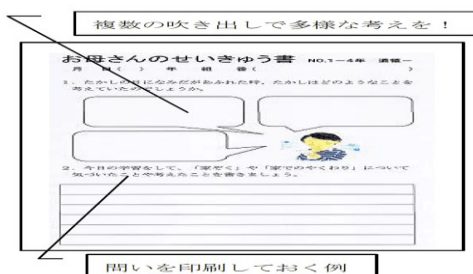


図 10 ワークシートの工夫(a)

b 手紙式

ワークシート  
登場人物を自分だとして自分の考えや思いを手紙にして書く形のワークシート。

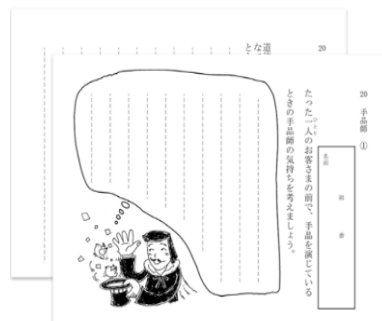


図 11 ワークシートの工夫(b)

c 自分の考えを評価

できるワークシート

自分で考えたことを自己評価したり、自己の意見を明確にする形のワークシート。

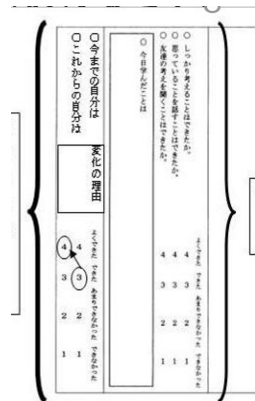


図 12 ワークシートの工夫(c)

d オープンエンド型ワークシート

最後に教材に関連したメッセージを載せるオープンエンド型のワークシート。



図 13 ワークシートの工夫(d)

今回の授業実践において小学校では、

- ①a:教師範読型
- ②a:共感型活用
- ③b:対意見交流
- ④c:葛藤:対比型
- ⑤d:オープンエンド型の形で実践を行った。

中学校においては、

- ①b:グループ範読型
- ②b:批判的活用
- ③b:対意見交流
- ④c:葛藤:対比型
- ⑤d:オープンエンド型の形で行った。

※①～⑤が前記の授業の工夫、a～dはその方法のなかの種類を示している。

#### (4)データ収集の方法

##### ①事前アンケート

事前アンケートにおいては、今まで受けてきた道徳授業に対する簡単な選択式のアンケートを行った。これまでの道徳授業の実態を把握するための調査資料として収集を行った。

##### ②ワークシートの記述内容

ワークシートにおいては、主に今回の対比型意見の形に関してのワークシートの記述内容から感じたことを見取る参考資料として調査を行った。

##### ③授業感想

授業感想に関しては、児童生徒の授業実践に関する感想から今回の道徳授業から学んだことや新たな気づきなどの実子どもたちが素直に授業から感じたことについてを調査する資料として活用した。

##### ④事後アンケート

事前アンケートと同じ項目のアンケートを今回の授業に変えて調査した。事前アンケートと比べて何が変容していたかを事後アンケートから見取り、今後のさらなる道徳授業の改善につなげていく調査資本として行った。

### 3. 研究結果

#### ①事前アンケート

今回の事前アンケートでは、

問1:今までの道徳学習のついて

問2:今までの道徳授業の何が楽しかったか

問3:今までの道徳授業の何が楽しくなかったか

問4:今までの道徳授業で色々な立場に立って考えられていたか

問5:今までの道徳授業で進んで発言できていたか

問6:今までの道徳授業で気づきがあったかについてアンケートを実施した。

これらの中から特に結果が気になったものに関してを挙げていく。

○「今までの道徳学習のついて」では、小学校では約79%、中学校では77%と8割近い児童生徒が楽しいと感じているということが分かった。

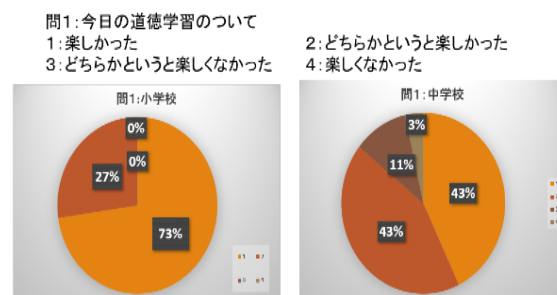


図 14 事前アンケート (問1)

一方で、「今までの道徳授業の何が楽しかったか」に関しては、小学校では54%、中学校では50%と約半数近くの児童生徒が教科書や教材の内容や話を聞くことと回答してる。授業内容ではなく、教材そのものの内容によって授業の楽しさが左右されてしまっているというこ

とが考えられる。

問2:今までの道徳授業の何が楽しかったか。

- 1:教科書の話を書くこと 2:友達の見聞を聞くこと 3:自分の考えを話すこと  
4:自分の生活を振り返ること 5:自分の生活に役立つこと

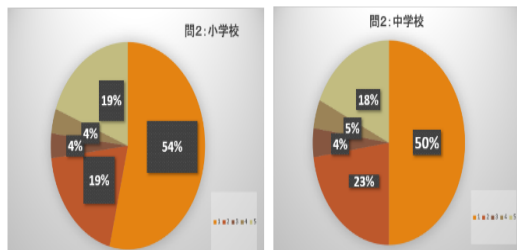


図 15 事前アンケート結果 (問2)

○「今までの道徳授業の何が楽しくなかったか」に関しては、小学校では72%、中学校では75%の約7割近くの児童生徒が自分の意見・考えを発表することという回答が圧倒的に多いという結果となった。

問3:今までの道徳授業の何が楽しくなかったか。

- 1:教科書の話を書くこと 2:友達の見聞を聞くこと 3:自分の考えを話すこと  
4:自分の生活を振り返ること 5:自分の生活に役立つこと

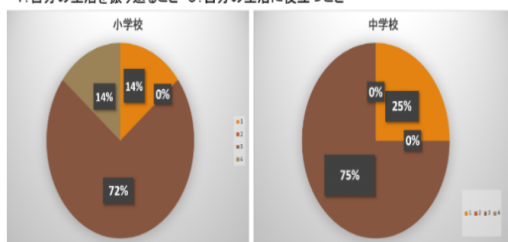


図 16 事前アンケート (問3)

○「今までの道徳授業で色々な立場に立って考えられていたか」に関しては、小学校では82%で約8割の児童ができていたと回答していた。一方中学校では、71%と小学校に比べて少し低い割合になっていた。

問4:今までの道徳授業で色々な立場に立って考えられていたか。

- 1:できていた 2:どちらかというとできていた  
3:どちらかというとできていなかった 4:できていない

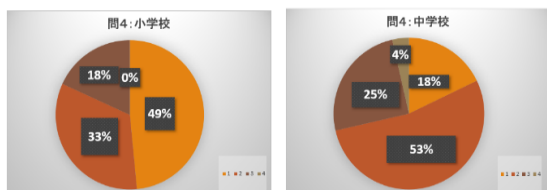


図 17 事前アンケート (問4)

## ②ワークシートの記述内容

今回授業では、対比型に合わせた内容のワークシートを活用し、オープンエンド型のワークシートを作成した。数名の児童生徒w p抽出し、ワークシートの記述内容から今回の授業実践の内容の効果の検証を行った。

### ◆児童生徒 A

この児童生徒は自分の意見の他に、友達の見聞も複数書いている。自分の意見だけでなく、友達の見聞も記入することによって多様な考え方に触れている様子が見受けられる。

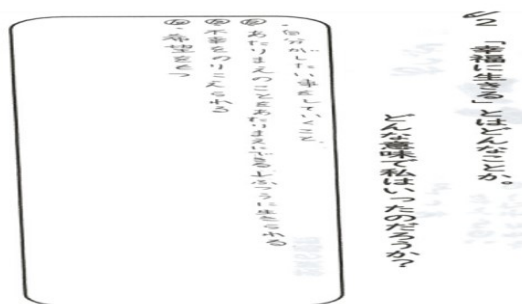


図 18 ワークシート A

### ◆児童生徒 B

この児童も A と同じく、自分の意見の下の枠(赤字)に友達の見聞をつけ足して記入している。また、自分の意見(普通に生きられる)に対しての友達の付けたしの見聞を関連付けて書くことができている。これにより、新たな考え方に対しての気づきが増えていく。

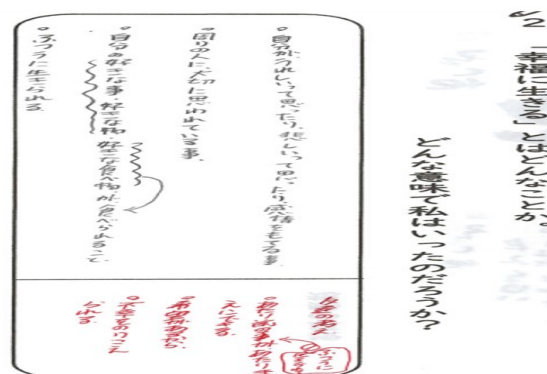


図 19 ワークシート B

### ③授業感想

授業の最後にも書いてもらった授業への率直な感想内容から数名を抽出し、今回の授業研究に関する検証を行った。

この2つの授業感想では、自分たちの日常生活を振り返ったり、今までの自分の考えを振り返ったりすることができている。

とても、私は日常生活は幸せがいっぱいだし、この生活ができていいことはありがたい、感謝したいです。授業が分かりやすく、楽しかったし、自分の役に立つことがたくさんありました。今日学んだことを忘れずにしたいです。ありがとうございました。

★今日の授業の感想を自由に書いてください。

自分達が当たり前と思ってることをできない人は何人いるのかを考えた。それが自分には知らなかった。

図 20 授業感想①

この2つ友達の見解から自分の考えや理解を深めたり、自分の新たな考えをもつことができている。

教科書のチームの話を読んで、病気でもどうして不幸だと思、たことか、なれたら、仲間と思、たけれど、その人の考えで、今を幸せと思うことし、不幸だと思、たこと、さるうたと思、た。

★今日の授業の感想を自由に書いてください。

今日の授業で、新たな考えを見ることができました。そして、幸福に生きると考えることが、できました。

図 21 授業感想②

この2つの感想では、授業を通して、疑問に感じたことや、新しい発見をすることができ、理解を深めることができている。

★今日の授業の感想を自由に書いてください。

「幸福に生きる」ということについて、私は「当たり前」の事が「当たり前」にできること、だと発言させて、また友達の考えも聞いて、「当たり前」がイキること、という意見に、感動して、理解を深められた。

★今日の授業の感想を自由に書いてください。

よく考えてみると「幸福」って何でしょうね。私は、生きているだけで幸せですけれど、普段の生活の中で、自然に「幸せ」という言葉が出てくることは少ないと思います。ゲームセンターで遊ぶのが、それと似たような感じが、楽しい物だ、たこと、思、た。生きているだけで幸せですが、簡単な言葉じゃないです。私はそう思っています。

図 22 授業感想③

これらの授業感想からの検証結果としては、授業内容で様々な視点からの多面的・多角的に考えを持つことができたということが分かる。

### ④事後アンケート

事後アンケートの質問項目は、事前アンケートと同様の項目で再度授業後にアンケートを実施した。事後アンケートの内容から特に大きく変容が見られた結果を挙げていく。

○「今日の道徳授業について」に関しては、小学校では、100%の全員が楽しかったという回答になった。しかし、中学校では、1%楽しくないといった回答が増加してしまった。

具体的に、「今日の道徳授業の何が楽しかったか」という項目に関しては、自分の考えを発表することや友達と話し合うこと、自分の生活に役立つことなど楽しさが多様化した。

問2:今日の道徳授業の何が楽しかったか。

- 1:教科書の話聞くこと
- 2:友達の見解を聞くこと
- 3:自分の考えを話すこと
- 4:自分の生活を振り返ること
- 5:自分の生活に役立つこと

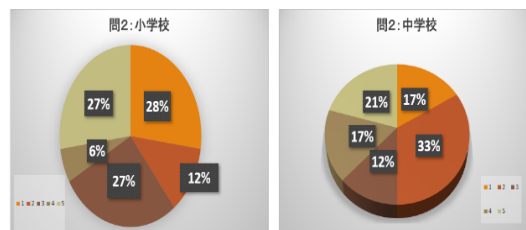


図 23 事後アンケート (問2)

○「色々な立場に立って考えることができたか」という項目に関しては、小中学校共に8割以上ができたという回答になった。対意見型にすることによって自分と真逆の意見にも触れることができ、考え方や感じ方の多様化につながった。

問4:今日の道徳授業で色々な立場に立って考えられたか。

- 1:できていた
- 2:どちらかというとできていた
- 3:どちらかというとできていなかった
- 4:できていない

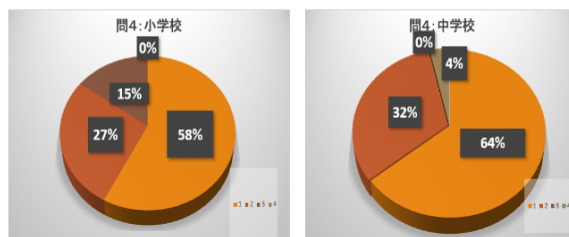


図 24 事後アンケート結果 (問4)

○「今日の道徳授業で気づきがあったか。」という項目では、9割近くのほとんどの児童生徒が新たな気づきを得ることができたと回答している。

問6:今日の道徳授業で気づきがあったか。  
1:あった 2:少しあった 3:あまりなかった 4:なかった

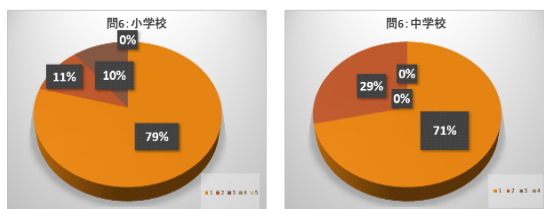


図 25 事後アンケート結果 (問6)

#### 4. 全体考察

本研究の目的は、「考え・議論する道徳授業」の授業方法の工夫を検証することであった。今回の授業の工夫での大きな成果としては、子どもたちが自分の考えをより深めて明確にする「考え・議論する道徳授業」の中での、友達の意見から自分の考えと絡めて深めていくことに関しては効果があったと考えられる。また、多面的・多角的な視点からの意見や、自分たちの日常生活と関連させながら関挙げていくということに関しては効果が見られたと考える。

- ◎教材内容と教師のねらいに合わせて、教材の提示の方法を考えていくことで、自分の考えを持てる授業に効果的である。
- ◎対比型の授業展開では、多面的・多角的な考え方に触れることができ、考え方に深みが出る。
- ◎対比型の授業を通して、様々な立場に立って考えることができ、日常生活にも生かせるという意識を持つことができていた。

一方で、本研究での今回の課題としては、以下のことが挙げられる。

- ①教師のねらいが明確ではないと、教材の内容だけに引っ張られてしまう可能性が高くなる。
- ②今回の研究では、根本的な授業時間数が少なく、対比型のみしか検証ができなかったため、

他の形での変容が分からなく、効果が少し見えにくかった。

③教材と授業方法の組み合わせが合わないと、生徒に伝わりにくい授業になってしまい、逆に伝わらない授業になってしまうリスクがある。

④数回の授業のみでの検証しかできず、あまり変容が変わらない結果になってしまった。

今回の研究では、授業時間数も少なく、対比型を中心とした授業実践の工夫の一例のみでしか検証を行うことができなかったが、これから他の授業方法の形式でも授業を行い、より充実した道徳授業に向けて授業の工夫を考えていきたい。

#### 5. 参考・引用文献

- ・青木孝頼 (1995) 「道徳授業の基本構想」
- ・林泰成 (2017) 「考え、議論する道徳」の可能性と課題 —「アクティブ・ラーニング」の視点から—
- ・鹿児島県教育委員会 (2018) 「鹿児島の道徳教育」リーフレット
- ・教育出版 (2019) 「考え・議論する道徳」に向けて
- ・光村図書 (2019) 「考え・議論する道徳とは」
- ・文部科学省 (2019) 小・中学校学習指導要領(平成 29 年度告示) 解説 特別の教科道徳編
- ・日本文教出版 (2019) 未来を担うこどもたちへ道徳授業
- ・埼玉県教育委員会 (2019) 「考え、議論する道徳」の授業づくりと評について
- ・小学館 (2019) みんなの教育技術
- ・東京書籍 (2019) 東京 E ネット
- ・上口さゆみ (2006) 広島県道徳教育実践研究指定事業 第 3 回定例報告会 実践報告 「効果的な板書の工夫について」